

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

コーナン商事株式会社（証券コード: 7516）

【変更】

長期発行体格付 **BBB+** → **A-**
格付の見通し **ポジティブ** → **安定的**

■ 格付事由

- 近畿地区を中心に店舗を展開している大手ホームセンター（HC）。「コーナン」「コーナン PRO」「CAMPDEPOT」を展開している。またグループ傘下には首都圏を中心に会員制建築資材卸売業を担う建デポ、九州地区において HC を運営するホームインブループメントひろせ、海外子会社のコーナンベトナム、コーナンカンボジアなどを有する。近年、首都圏 HC の M&A や事業承継などを実施してきたことで、関東地区のドミナント強化が進んでいる。
- 収益基盤の強化が進んでいる。関東地区での店舗網拡大が着実に進んでいる他、需要が堅調な PRO 業態の業績への貢献度も高まってきており、従前と比べて高水準の営業利益を確保していくとみられる。また、業務効率化策の推進や物流網の見直しなどコストコントロールの強化にも取り組み、費用が抑制されている。店舗網の拡充など成長投資を積極化しているが、キャッシュフロー創出力の向上や自己資本の増加を背景に、財務構成の改善を進めていくことは可能と考えられる。以上より、格付を1ノッチ引き上げ、見通しは安定的とした。
- 24/2期の営業利益は240億円（前期比9.4%増）とPRO商材や日用消耗品などの販売数量増加や販管費の抑制などにより3期ぶりの増益となった。25/2期も259億円（同7.5%増）と増益の計画である。PRO市場の需要取り込みや店舗作業の業務効率化などが引き続き寄与するとみられる。23年6月に子会社化したホームインブループメントひろせについては、コーナンPB商品のシェア拡大や商品仕入および物流体制の共有化による価格競争力強化などを図っていく方針である。今後、シナジーの発現状況や業績への貢献状況に注目していく。
- 新規出店や店舗改装に加え、ホームインブループメントひろせの子会社化に伴う有利子負債の増加などにより、24/2期末の自己資本比率は34.3%（前期末35.7%）、DERは1.3倍（同1.2倍）となった。ただ、利益蓄積により自己資本が増加したことから、財務指標の悪化は限定的であった。今後も店舗関連を中心に成長投資が実施されていく見込みだが、キャッシュフロー創出力の向上や堅調な業績による利益蓄積を考慮すれば、財務体質の改善が進む公算が大きいとJCRでは考えている。

（担当）大塚 浩芳・金井 舞

■ 格付対象

発行体：コーナン商事株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年7月31日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：大塚 浩芳
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年2月1日)、「小売」(2020年5月29日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) コーナン商事株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル